nittoku

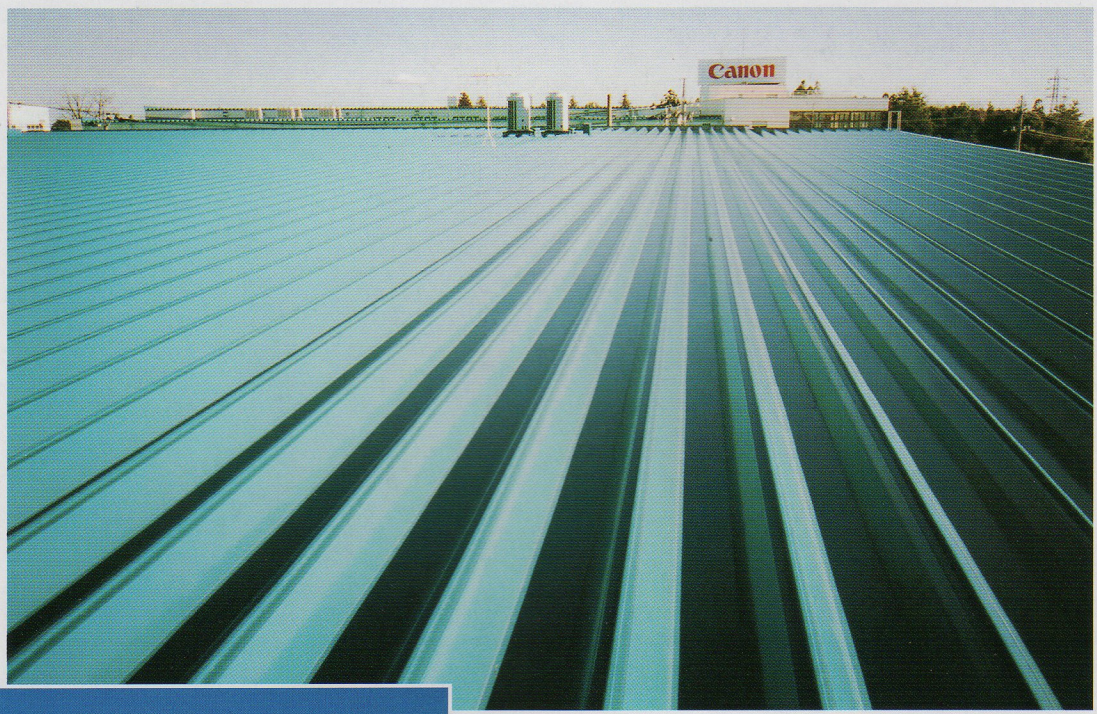
太陽光線を反射し、熱を遮り、室内の温度を抑えます。

省エネ屋根用遮熱塗料

パラサーモ

ご採用者の声

キヤノンファインテック株式会社《第2版》



関東平野のほぼ中央、茨城県の最南西部に位置し、鬼怒川をはじめ、大小９つの川が流れる田園都市・水海道市（みつかいどう）。キヤノンファインテック株式会社は、この水海道市に本社と９棟の工場を置き、キヤノングループの一員として、ページプリンタ、デジタル複合機、カードプリンタなど、高品質の事務機、周辺機器を開発・製造しています。

そのキヤノンファインテック株式会社の９棟の工場のうち３棟で、昨年「パラサーモ」をご採用いただきました。そこで、同社総務部副部長・遠藤勲様と、施工を担当された有限会社テラダ塗装の代表取締役・寺田照男様をお訪ねし、「パラサーモ」の効果についてお話をうかがいました。

日本特殊塗料株式会社

本当に効果があるのか、不安もありました……遠藤様

――このたびは「パラサーモ」をご採用いただきまして、ありがとうございました。本日は、採用されたきっかけやその後の状況などをお聞きしたいと思います。

◉**遠藤様**：2002年の5月から7月にかけて、水海道市にある9棟の工場のうち3棟の屋根を「パラサーモ」で施工しました。3階建てのE棟、4階建てのF棟、2階建てのG棟です。

以前は毎年夏になると「暑い」という苦情が相次いでいました。とくに多かったのはF棟の4階、G棟の2階からです。ですからF棟とG棟には、昨年の4月ごろは、予算がとれたらエアコンをいまの据え置き型から天井型にして均等に風が出るようにするか、台数を増やすと言って納得してもらっていました。でも、空調設備を直すと数千万円の費用がかかります。それで遮熱塗料を塗ってみよう、という話になったのです。

◉**寺田様**：以前、遮熱塗料を検討したときは価格が一般塗料の1.5倍から2倍でした。「パラサーモ」は遮熱機能を加えても従来の塗料とほぼ同等ということでしたので遠藤さんにお勧めしました。でも、実際に効果があるかどうかは初めはわからなかったんです。

――まず室内ランプ照射試験の装置で裏面温度の変化を見ていただきました。

◉**寺田様**：実験は短時間でしたので、一日中太陽に照らされるなかで、本当に遮熱効果があり、しかもそれが持続するのかどうかが心配でした。

◉**遠藤様**：私も不安でしたから、その後、ある建物の屋根に試しに「パラサーモ」を半分塗って比較しました。塗った部分と塗っていない部分の境い目の下に立つと、輻射熱の体感温度がはっきり違いましたね。塗ったところの下は頭上からくる熱が少なかったんです。測ってはいませんが、体感できたということはかなり温度差があると思います。ほかの従業員もいたのですが、やはり違うと言っていました。

――実際に、施工したあとの昨年の夏はいかがだったのでしょうか？

◉**遠藤様**：それが、まさに酷暑だったにもかかわらず、ほとんどクレームがなかったんです。ということは、以前に比べて過ごしやすかったのだと思います。

いちばん心配したのは、冬にどうなるか、です……遠藤様

◉**寺田様**：そのとき体で感じた温度差を数字ではっきり見たかったですね。工事が終わった9月に温度計を設置したのですが、すぐ天気が悪くなり、正確なデータはとれませんでした。

◉**遠藤様**：データは必要ですが、エアコンの能力や機械の稼動時間、人の数でも室内の温度は変化しますから、いつどこで測るかが難しいと思います。

◉**寺田様**：計測するとしたら、屋根裏の少し下ですね。建物によって床から天井の距離がそれぞれ違いますので、屋根裏の下から何cmと決めて、すべて同じ位置で同じ時間帯に、塗った棟とそうでない建物で測れば正確なデータになると思います。9月に設置した計器はそのままにしてあります。今年の夏、結果を見るのが楽しみです。

――データはお客様に納得していただくのに大切です。現在、当社でさまざまな条件下でのデータを収集しております。

◉**遠藤様**：今後は施工前と施工後の計測データを残しておいて、グラフにしてすぐ見られるようにするとか、綿密に計画して調査したいですね。

データといえば、いちばん心配したのは、冬に温度が上がらなくなるので

当事業所では、毎年夏になると「暑い」というクレームが多く出ていたのですが、「パラサーモ」を塗った昨年は、酷暑だったにもかかわらず、ほとんどありませんでした。

キヤノンファインテック株式会社
総務部副部長　**遠藤　勲　様**